



The Rotary Club of KANUMA-EAST (59th)

鹿沼東ロータリークラブ 会報

2025-26年度テーマ

「未来を創る歯車をまわそう」



会長:鈴木 勤 幹事:江田 純也

編集責任者:市川 智 編集統括:亀山弘晃



No.2593(2526-19) 11月第三例会 11/19 (水) SAA 湯澤真人

財団卓話 高橋宏会員 例会後インフルエンザ予防接種



本日のお客様

～予防接種関係で、石川ファミリー
石川寿子様（令夫人）
住谷睦様（ご令嬢・Dr.）

鈴木 勤 会長挨拶

野球部のみなさん、筋肉痛していますか～？ 日曜日、秋晴れの中 2550 地区親善野球大会がヤオハンいちごパークで行われました。参加の野球部皆さん大変お疲れ様でした。私は未だに太もも、腹筋、腕回りが大変なことになっています。そして何より右足踵がヤバいです。第 1 戦目の初回到にショート守っていた私は丁度ショートとセンターの間のフライが上がった際、踵に激痛が走っていました。結局そのフライはセンターの大塚健人君が処理してくれたのですが、ずっとこの変な違和感、経験したことのある感覚、「ヒビ」？のような気がしてならないのですが結果を知るのが怖いのですし、つま先重心にすればなんとかなるので病院には行きません。お休みでもある日に応援に駆けつけて下さった会員の皆様ありがとうございました。設楽光江会員からはスポーツドリンク、高橋宏さんからはお蜜柑を差し入れていただきありがとうございます。

監督からも報告があったかと思いますが、宇都宮南RCとの初戦は僅差での大敗（12-0）、第 2 試合の宇都宮西RCとは 6 対 3 の勝利を収めることが出来、昨年宇都宮西RCに逆転負けを喫していますのでなんとかリベンジを果たすことができました。

個人的にはピッチャーを務めた山口さん、館野さんがそれぞれ投げ切った上、2 試合ともそれを受け続けた幹事の江田さんに大変お疲れ様でした。と讃えたいと思います。

さて、今週日曜日 23 日には社会奉仕委員会によるネバーランド祭りの事業が予定されています。地区補助金事業に続いて休む暇が無い中ご準備いただきます社会奉仕委員会のメンバーの皆様本当にありがとうございます。また土曜日に入れると 3 連休の中日ではありますが、会員の皆様にもご参加いただけますととても嬉しいです。23 日は例会となっていますので、翌週の 26 日（水）の例会はございませんのでご注意ください。ちなみに 12 月 3 日（水）も 6 日（土）のクリスマス家族会となりますので、今度の例会場例会はさらに先となります。（次ページに続く）

何かとお忙しい時期ではありますが、ネバーランド祭、クリスマス家族会、沢山のご参加をお待ちしております。

本日のプログラムは財団委員長の高橋宏さんの卓話となっています。先週も申し上げましたが、財団・米山のご協力未だの方はどうかご協力の程よろしくお願いいたします。

江田純也 幹事

会務（ではないほうの）報告

野球のあと、生まれたての小鹿のような歩き方でしたが、ジンギスカンを食べて復活しました



本日のプログラム 財団委員長卓話「ロータリー財団について」

高橋宏会員

① 国際ロータリーの使命

他者に奉仕し、高い倫理的基準を促進し、事業と専門職務及び地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進すること。

② ロータリー財団の使命

ロータリー会員が、人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じ、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること。

ロータリアンの寄付によって、世界各地での奉仕活動に役立てている。
一つひとつの寄付で、世界中の地位社会を少しずつ変えていける。

*60 セントで、一人の子供をポリオから守ることができる。

*50 ドルで、水を介する疾病から人々を守るために、安全な水を提供することができる。

*500 ドルで、いじめ撲滅キャンペーンを立ち上げ、子供たちに安全な環境をつくることができる。

設立時のモットー“世界でよいことをしよう！”（Doing good in the world）

③ 地区研修会について

*補助金委員会 *ポリオプラス小委員会 *資金推進・恒久基金/大口寄付推進小委員会 *資金管理小委員会 *ロータリー平和フェロシップ小委員会
*学友小委員会

④ 補助金について *地区補助金 *グローバル補助金

⑤ 参考文献 2024 年 4 月号・2025 年 11 月号 ロータリーの友、ガバナー月信

会員皆様には引き続き関心を持っていただきたいと思います



ロータリアンの三大義務 例会出席、会費納入、ロータリー雑誌購読

そして（プログラムとは別に）ちょっと知ってほしかった話

☆ 山崎宗彌さんの話 （第24代会長 1990—91年度 2010.3.19物故）

福島・奥只見の三島町を訪れ食事をしていたところ、地元の方の会話で「栃木の鹿沼のやつらはひどい。山菜やチタケを根こそぎ持って行っちゃまう」旨の話が聞き捨てならず「鹿沼はそんなやつばかりじゃないんだ」と言わんばかりに只見川へ錦鯉の放流を始める。なかなか定着しなかったが、十何年かして錦鯉で有名な川となる

山崎宗彌さんはロータリーの友の投稿にも関心があり日ごろの関心事が掲載されています

上：2008年5月号 下：2009年11月号 （詳細は「友電子版」をご覧ください）

キーワード検索もできます ID：2550-00810 パスワード：00810-251



「自然のすごさに学ぶ」
を読んで

「ロータリーの友」二〇〇八年一月号掲載組「二六」に掲載された、第二八〇〇地区（山形県）の地区大会記念講演会「自然のすごさに学ぶ」を読みました。私はがく然としながら何度も読み返して、その深みにのめり込んでいくような気持ちでした。

画面の写しにもあるような、古い地球が三〇〇年後、どんな色になってしまおうのかと想像しただけで鳥肌が立ちます。地球温暖化が進めば、文明が崩壊する……。読むにつれ、身に染みるように実感しました。

私は英語ができませんので、カタカナ語を交えた全文を理解することは至難で、不明なところだけですが、危機感を感じました。講演を聴いた二八〇〇地区の会員の方々はどう感じ、今後どのような取り組みをするのか、それとも「お尋ねしたいところ」です。

ロータリーが取り組んでいるポリオ・プラスより、重大な問題とも受け取れます。これは、日本の国会で取り上げられる議題に匹敵するほど重大なものであり、福田康夫首相にも読んでほしい。できることなら、世界のロータリアンに読んでほしいという文章であり、さらに世界の人々に知ってもらいたい内容であると思います。

「静」の精神を大切に（一六）からの内容は、浅学な私には理解できませんが、文章の最後で述べられているような人材を、早く育てなければならぬということだけはわかりました。私は三〇年後には生きていないから考えない、というのではなく、今生かされていくからこそ、将来が心配で述べているのです。

（第二五五〇地区 栃木県 自動車修理）

「職業奉仕委員会の審議と勧告」を読んで

山崎 宗彌

「ロータリーの友」二〇〇九年一月号掲載組「一六」一七の「Vocational Service Committee（職業奉仕委員会）の審議と勧告」を読んだ驚きました。私が学んできた考えと違い、無医村での診療や無料相談などは社会奉仕に属したのです。執筆者の廣畑富雄氏にお尋ねの手紙を出したところ、氏の返事は「ロータリーの心と原点」という（廣畑氏の）著書を読んでほしい」とのこと。早速取り寄せました。さらに田中毅氏の「ロータリーの奉仕理念」も読み、職業奉仕の本質を少し理解できたように思います。

奉仕とは仕え奉ることであり、職業で仕え奉ることを考えると、無料相談など……と思ってしまう。サビサービスを奉仕と訳されて教えられてきましたから、奉仕は無料という概念が先に立ち、理解の障害になっていたのかもかもしれません。ロータリーのサビサービスは単なる奉仕ではなく、もっと広い意味が含まれます。職業奉仕とは、ロータリアンが他人（お客さま）により仕事（商品）を提供し役に立った職業（仕事）に対し、感謝の気持ちで支払われた適正な報酬で生計を立て、残りの一部で国民の義務を果たし、共存共栄を図り、この行為をロータリー以外の人に推奨することだ、と思いを变えることができました。

従って職業奉仕は有料であるべきで、受注者と依頼者の両方が利益を得なければなりません。両方が長期的に利益を生む関係が得られると信頼関係が生まれ、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」関係が生じてくるものだと思います。この場合の奉仕は他人により仕事を提供することですから、多く報いられることは利益が得られることと思われま。

職業奉仕は、ロータリアンだけでなく、すべての職業人にも言えると思います。しかし、社会は善人ばかりではなく、不正の利益を得んとする人がいます。一〇〇年に一度と言われる不況の原因も、その辺にあると思います。よい社会をつくるため、ロータリアンは職業奉仕を理解して広め、社会に奉仕しなければなりません。

入会後三八年もかかって、やっとそのことに気がつきました。

（第二五五〇地区 栃木県 自動車修理）



☆茨城から能登への震災支援 新井和雄さん（下館 RC）神野正博さん（七尾 RC）

2024年7月号



支援が届きにくい現実。同僚がバナーの病院を目指す

元旦の所作を終え、典雅な雑沓の調べに乗って京の友から贈られた酒肴を傾けた頃、この茨城の下船でゆきゆきと始まった援けはいよいよ重くなり、災いが腹裏をよぎる。2024年1月1日午後4時10分、石川県で最大震度7を観測した地震が発生したのだ。

東日本大震災を経験している私たちは被災地の困難を直感、目ににあらわになっていく被災地の惨状を目の当たりにすれば、支援の手が届きにくい現実、ロータリーとして困難感の感を覚えた。能登半島の広範囲で水道や電気、ガス、道路、空港、港所、役所、病院をはじめ、多くの社会インフラや住宅が破壊され、治療を必要とする被災者が多数現れた。

能登で地域医療を支える神野正博さん（七尾 RC）と連絡を取ったのは1月5日のことだった。神野さんは第2610地区（石川・富山）の2021—22年度ガバナーで、私と同僚ガバナーである。

七尾市で神野さんが経営する恵寿総合病院では、通常の患者の他に、多くの被災者や診療がでなくなったクリニックからの患者を受け入れ、業務は通常の2—3

2820地区能登半島地震緊急支援隊」を編成した。支援物資搬入までの経路は次の通りである。

1. 地区補助金臨時費の申請
2. 地区内会費に寄付のお願い
3. 食品製造・販売業を営む会員から食料を調達
4. 水戸市から災害支援車両の高速道路通行許可を得る

1月11日深夜、4台トラック3台とワゴン車1台に支援物資を積み、茨城県水戸市から恵寿総合病院に向かった。病院近隣のロータリアンも皆被災者であり、七尾 RCの事務局も被災したことから、神野さんには誰にも連絡をしないよう頼んだ。当日も、緊急支援隊だけで搬入するので、神野さんをはじめ職員の方々は「医療を止めない」業務に専念していただくようお願いしていた。

被災者全員に配るより、被災地で奮闘する仲間を支える

12日午前8時に恵寿総合病院に到着。搬入を始める。と神野さんが現れ、陣頭指揮を執り始めた。すると徐々に人員が増え、物資があつという間に保管場所に納まった。病院の災害対策本部に報告して支援物資受領書を領

経営する会員が「焼きたてのパンを届けたい」と、社員総出で出発直前に大量のパンを届けてくれたことだ。私たちがロータリーは、数万人の被災者全員に平等に物資を配布することはできない。地方、疾病治療や通病が必要な患者、妊婦などの災害弱者の方々のため、自らも被災者でありながら「医療を止めない」決意で地域医療

を支えている病院のレジリエンスを高めることができた。ロータリーには、このような観点からの、公平性の高い活動が求められているのではないだろうか。

（第2820地区 茨城 2021—22年度ガバナー）

※困難で骨を折る状況にもかかわらず、うまく対応する過程や能力、および活動の結果のこと（出典：平凡社「最新心理学事典」）

「ロータリーのマジック」を決して忘れない

社会医療法人財団恵寿会 恵寿総合病院理事長 神野 正博（七尾 RC）

お正月は自宅にいた。七尾市における震度6強の揺れは、麻痺し横揺れというよりは、長くぐるぐる回る感じだった。2007年の能登半島地震時の震度5強には、耐えた家具が揺れ出し、浴室とともに道路から家の玄関、庭に幅20cm、長さ数mに及ぶ亀裂が走り、段差が生じた。病院の周りの市街地の多くの家屋が倒壊した。医療機関は、平時の医療、災害時の医療、そして復旧まで、災害とともに需要が格段に増える業務7

台とワゴン車で支援物資を出した。そのスピードと物量はまさに「ロータリーのマジック」。目を丸くした。これらが、震災初期のわれわれ医療提供者の活動の文字通りの糧



例会後、インフルエンザ予防接種 健康管理委員会



← いてててて・・・！
まだやってないよ（Dr.）

問診

服の上からでいいって言ってるのに
女医さんだからあえて脱ぎたがる？



スマイル投入 尾花一浩 委員長

ご協力のスマイルは奉仕事業に使われております

って知っちゃーんさやー で、年間ひとり25,000円なんね

- ・鈴木 勤会長 高橋宏さん、今日は卓話ありがとうございました。
山崎宗弥さん、懐かしいです。入会したての私は、緊張で直立不動だった記憶です。
- ・安田 博会員 高橋財団委員長、本日は卓話有難うございました。
皆様、今年度もご協力有難うございました。
- ・石川 仁会員（健康管理） 会頭室で待ってます。
- ・吉田純二会員 ロータリアンの使命について理解が深まりました。
高橋会員ありがとうございました。
- ・山口典孝会員 地区野球大会お疲れ様でした。
楽しい大会になりとても充実した日を過ごせました。
ピッチャーは大変辛いので、次回から前田さんが先発できるように調整願います。
- ・大島 知会員 11/16地区野球大会 部員の皆様、お疲れ様でした。
1勝1敗 5割、監督の面子が保たれました！

出席報告 原田篤 委員長

会員数	45名
出席計算会員数	44名
メイクアップ	0名
欠席者	12名 赤羽、池澤、片浦、加藤、熊倉、鈴木奈、 刀川、舘野、出口、仲田、吉村、若林
出席率	72.73%
例会参加率	71.11%